

日本バドミントン学会

第 2 回学会大会

プログラム

日時：平成 31 年 3 月 17 日（日）

場所：首都大学東京秋葉原サテライトキャンパス

日本バドミントン学会 第 2 回学会大会 プログラム

期日：2019 年 3 月 17 日 11:30～18:00

場所：首都大学東京秋葉原サテライトキャンパス

参加費：正会員 2000 円・学生会員 1000 円・非会員 1000 円

大会長：井上 翼（西日本工業大学）

内容：

11:30 開会

11:40～11:55 ポスター発表（発表3分×5演題）座長：金子元彦（東洋大学）

11:55～12:15 フリーディスカッション

P1 大学体育バドミントン授業受講者におけるサービスストロークに関する研究

藤野和樹¹⁾

1) 千葉商科大学

P2 スクワットジャンプにおけるしゃがむ深さによる

跳躍高獲得の仕方の違いがパフォーマンスに与える影響

梶谷名鷹¹⁾，安藤正志¹⁾

1) 法政大学

P3 筋－骨格モデル解析法を用いたストローク動作時の

全身筋活動および関節トルクの特徴

宇高 椋¹⁾，井上 翼²⁾，升佑二郎¹⁾

1) 健康科学大学

2) 西日本工業大学

P4 バドミントン・ダブルスにおける前衛プレーの研究

松田ほのか¹⁾，清野祐介¹⁾，大森悦生¹⁾，林直樹¹⁾

1) 仙台大学

P5 WT2018 男子ダブルスランキング1位・GIDEON/SUKAMULJO の攻撃パターンから
ダブルスの攻撃練習を考案する

林直樹¹⁾，清野祐介¹⁾，松田ほのか¹⁾

大森悦生¹⁾，大東忠司²⁾

1) 仙台大学)

2) 日本体育大学

13:00～14:30 招待講演 座長：岸 一弘（共愛学園前橋国際大学）

①日本バスケットボール学会の活動と課題

谷釜 尋徳 氏（東洋大学法学部教授，日本バスケットボール学会理事）

②日本陸上競技学会の歩みと現状

大山 卞 圭悟 氏（筑波大学体育系准教授，日本陸上競技学会事務局長）

14:10～14:30 ディスカッション

14:40～15:40 一般演題①（オーラル発表）座長：林直樹（仙台大学）

（一般演題①～③の発表時間：10分，質疑応答：3分）

O1 バドミントン競技選手の動き出し動作のバイオメカニクス的研究

升佑二郎¹⁾，佐藤優希²⁾

1) 健康科学大学，2) 法政大学

O2 大学生およびパラ・バドミントンプレイヤーのグレーディング能力に関する検討

金子元彦¹⁾

1) 東洋大学

O3 車いすバドミントン初心者に対する導入プログラムの検討：継続するための工夫

牛木鮎子¹⁾，齊藤まゆみ²⁾，澤江幸則²⁾，吹田真士²⁾

1) 筑波大学体育専門学群

2) 筑波大学体育系

O4 バドミントンジュニアアスリートにおける肩関節痛に関連する

肩関節メディカルスクリーニング項目の検討

藁科侑希¹⁾

1) 筑波大学

15:50～16:50 一般演題②（オーラル発表）座長：藤野和樹（千葉商科大学）

O5 バドミントンシングルスロビング時における状況判断の実践知に関する研究：元オリンピック選手へのインタビューを通して

吹田真士¹⁾，喜多翼²⁾

1) 筑波大学体育系

2) 日本リック株式会社

O6 小学校でのバドミントンに関わる運動の授業分析

:2年生体育科の「シャトルを使ったゲームをしよう！」について

岸 一弘¹⁾

1) 共愛学園前橋国際大学

O7 バドミントン試合中の移動についての事例研究

加藤幸司¹⁾

1) 慶應義塾大学

O8 間欠的低酸素トレーニングの効果：バドミントン上級者の生理学的事例研究

山田歩武¹⁾，越智元太^{1,2)}，白井奈々絵²⁾

才記壮人¹⁾，大村航希¹⁾，薬師寺真奈¹⁾

中川凜¹⁾，征矢英昭^{1,2)}，吹田真士¹⁾

¹⁾ 筑波大学体育系

²⁾ 筑波大学体育系ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センター

17:00～18:00 一般演題③（オーラル発表）座長：吹田真士（筑波大学）

O9 大学体育バドミントン授業における学習者に関する知識：競技経験と

自己評価技能の関係

藤野和樹¹⁾

1) 千葉商科大学

O10 バドミントン競技男子シングルスにおける Probit model を用いた

エースショットになる確率の要因分析

佐藤優希¹⁾，河村 真²⁾

1) 法政大学経済学部現代ビジネス学科

2) 法政大学経済学部

O11 日本女子ダブルストップ3の攻撃的特徴

林直樹¹⁾

1) 仙台大学

O12 ソフトウェア技術を用いたバドミントンのデータ分析

井上 翼¹⁾，安村亮介¹⁾

1) 西日本工業大学

18:00 閉会